

## 冬の星空

まずはオリオン座を見つけてみましょう。仲良く3つ並んだ星は、巨人才オリオンのベルトです。

オリオンのベルトを東に伸ばしていくと、ひとりきわ明るい星シリウスにぶつかります。こいぬ座のプロキオンと、オリオン座のペルセウスを結ぶと冬の大三角ができます。

オリオンのベルトを西に伸ばしていくと、おうし座の赤い星アルデバラン、さらに伸ばすとすばるが見つかります。

冬は明るい星が多いんだぜ！



こども文化科学館  
キャラクター  
「ピヨン太」

この星空は

12月15日23時頃  
1月15日21時頃  
2月15日19時頃

※星図はステラナビゲータ10/(株)アストロアーツをもとに作成

月齢

1日／新月

9日／上弦

12月 15日／満月

23日／下弦

31日／新月

1月 7日／上弦

14日／満月

22日／下弦

29日／新月

2月 5日／上弦

12日／満月

21日／下弦

28日／新月

### 冬の天文トピック

#### 冬の星と惑星たちの豪華な共演

冬の星空には明るい星が多く、また空気が乾燥して空が透明になって星がよく見えます。それだけでなく、今年の冬は火星が地球に接近して明るく見えます。木星と土星も加わってにぎやかな星空が楽しめます。夜空で惑星を見分けるには——またたきが少ないのが惑星ですが、調べておくと間違いません。このパンフレットの星図を片手に、冬の星や惑星をさがしてみてくださいね。

### コラム

### プラネタリウム100周年

～地上の星 ドイツに生まれて1世紀～

プラネタリウムは1923年に試験公開、1925年に一般公開されました。  
「星を映す機械」をいろいろな切り口からご紹介いたします。



プラネタリウム  
100周年

#### 星空から宇宙へ「デジタルプラネタリウム」

世界の星空を再現できるようになったプラネタリウムは、やがて太陽系内の他天体から見た星空を映し出せるまでになりましたが、太陽系外に出るには原理的な壁がありました。1980年代初頭、観測データにもとづく宇宙の立体地図をコンピューターで再現し、ドームスクリーンに映し出す、デジタルプラネタリウムが誕生しました。現代のプラネタリウムは星空だけでなく、人類が科学の力で導き出した宇宙を体験できる場に生まれ変わったのです。

